

2018/1/23

うときゅういっきの英語夜話（ことば夜話）

お前の味方だ (I`m on your side)



「おれはお前の味方だぜ」

これを英語でなんと言うか？

基本的に僕の英語知識は中学までなので、当然「味方」なんていう単語はしりません。というか習っていません。

でも、お前の敵じゃないし、傷つけたり、邪魔をしたりしないから、安心してほしいという気持ちだけはどうしても分かって欲しい時がありました。

じゃあ、それをどうやったら伝えられるか？

もちろん僕の知っている中学レベルの単語だけを使ってです。

余談ですが、なぜか僕はすぐに「ググる」のがあまり好きではないのです。

で、いろいろ考えてみたわけです。

まず「味方」という言葉のイメージを広げて、拡大解釈をしてみました。

「味方」ということは、つまり

「お前の敵ではない」で

I`m not your enemy

ん、エネミー（敵）？なんかちょっと物騒かな？それに消去法みたいでちょっと弱いような。

で、次は

「俺はお前の友達だ」で

I`m your friend

ん、これじゃあ、なんかいつもの事実関係をいっているだけで、なんというか「お特別感」がないような気がする。

というように「味方」という日本語があらわす「状態」を、僕が知っていて、且つ「その状態」に近い言葉をいろいろ当てはめていったわけです。

で、最終的にこれがいいんじゃないか？と思ったのが

「味方」ということは俺の側に立つのではなく「お前の側に立つ」ということだよな。

なんか、一歩踏み出した感じで「ポジティブ感」があるし。

で、苦肉の策で

I'm standing on your side

「俺はお前の側に立っている」

としました。

でも、ちょっと長い感じがしたので、少しインパクトを持たせるために、端折って

I'm on your side

つまり「俺はお前の側（がわ）だぜ」

として、外国人に話したら、

Oh, thanks!! I'm on your side, too!!

「おお、ありがとね。俺だってお前の味方だぜ」

と返ってきました。

気持ちが伝わって、意味としても通じたみたいです。

ですから、何もその単語ズバリを知らなくたっていいんです。

要は、こちらの気持ちや思いが伝わればいいんですから。

「一種の状況説明」というか、なるたけ相手の目の前で「絵になりやすいポンチ絵もどき」を「描いて」あげればいいだけの様な気がするのです。

それがわかれば、あとは、それを表現できる言葉を、知っている単語の中から探し出して、組み合わせ、話す。

それだけでいいような気がします。

ここでは、自分が車道を挟んで左側の歩道から出て行って、相手の右側の歩道に移って、立ったイメージを言葉にただけなんですから。

これがぼくの言う、知らなければ「英語は創ればいい」という事の意味するところなのです。

お伝えしたいことの、ひとつなのです。

追記)

I'm in your side でもいいような気もしますが、「in」だと、「in」すなわち「の中」になってしまうので、どちらかというところ「すでに相手にどっぷりつき」運命共同体みたいな感じがしたので、「on」すなわち「の上にいる」を使いました。

その方がややその「どっぷり感」が少なく、縛りも少ないような気がしたからです。

しかし、逆に言うと、もっと強いきずなを表現したいときには、「in」を使ってもいいのかもしれないですね。